

# 無駄な八ッ場ダム工事中止で 返還金を水道料金引き下げに



中和事業により変色した湯川（品木ダム付近）

私は「埼玉県の負担が実質574億円から同じ負担割合だと1085億円にもなる。埼玉県の負担の増大は県水単価の引き上げとなる。条件が悪い無駄な「八ッ場ダム」建設で自然を破壊するよりも、工事中止で574億円の返還を実現させ、県と市の水道料金の引き下げに生かすことこそ有効な施策ではないか」と質問しました。

市長は「データは持っていない。その論議は県議会でやって欲しい。維持費などの負担があがれば、当然県水があがり、入間市の水道料金を審議するようになる」と答えました。鉄とコンクリートを溶かす酸性河川の中和事業や硫黄鉱山跡から出るヒ素対策など、重要な課題が残されています。

八ッ場ダム問題について知りたい方はご連絡ください。また、「いるま9条の会」は5月23日に高杉晋吾氏の講演と学習会を計画しています。

## 「来夢」です「よろしく」 家族が増えました



1ヶ月前「いるま猫の会」にお世話いただきました。生後6ヶ月の娘です。

生活相談、ご意見は、  
電2964-4048 石田よしおへ

### やんば 八ッ場ダムとは？

計画は半世紀以上前。利根川の洪水調節と首都圏の水需要が目的。利根川支流の吾妻川に建設される多目的ダム。堤高131メートル、総貯水量1億750万トン。川原湯温泉、吾妻溪谷の3分の1である340戸が水没。2010年度完成予定を5年間延長。

# 負担増大と環境破壊の八ッ場ダムは 建設中止を（12月議会の一般質問・126回）

入間市が購入している県営水道の源流のひとつは、政策転換の象徴的存在の「八ッ場ダム本体工事中止問題」となっている吾妻川です。

## 自然破壊のダム建設

ダムに頼らない治水・利水が求められます。奈良の大滝ダム、秩父の滝沢ダムは水をためられない欠陥状態です。私は、「ダム建設による自然環境破壊」を質問しました。市長は治水・利水などの効用があるとの見解でした。

## 今も将来も水余り状況

私は、入間・埼玉・1都5県（600万人分）で水余りであり、将来さらに水需要が減少で、50年前に計画された「八ッ場ダム」は、現在、必要ないと主張しました。

市長はそのとおりだが、異常渇水や大災害への対応でダムは必要と述べ、具体的理由はあげませんでした。



県道橋脚前の水没予定地にて

## 工事後も莫大な費用

高さ116m長さ290mの重力式ダム計画の吾妻川ですが、不老川より水が少ない状況です。4600億円の建設費以外に、上流8ヶ所の発電所から水を買戻す減電補償が510億円、生活再建関連770億円、19ヶ所の地すべり対策工事、年10億円の中和事業と最終処分場問題、残された6割の河川の新中和事業、年49トンのヒ素対策、維持費や利息を加えると、予算が8700億円にも増加します。（4面に続く）

日本共産党入間市議会議員

## 石田よしお市議会報告

（2010年1月号） 入間市上藤沢688-8

電話・fax 2964-4048 携帯070-5086-2075

ホームページ：「日本共産党入間市議団から石田よしおへ」



# 65歳以上の新規取得者切り捨て 12月定例市議会

## 障害者の福祉手当までも削減

12月議会には、条例、補正予算など20議案が提出され、全て可決・成立しました。

### 6000円の手当を年齢で差別

条例改正では、重度心身障害者福祉手当の一部改正が提出されました。

月額6000円の福祉手当について、精神障害者や超重度心身障害児に支給が拡大されるものの、それと一体に65歳以上の新規障害者手帳取得者には、この手当を支給しない内容です。

### 「福祉の切り捨て」に反対

共産党は、「高齢者は公的年金等控除の縮小など、相次ぐ税制改正で負担増を強いられている。今回、新たな65歳以上の人を切り捨てることは、高齢者にさらなる追い打ちをかけるもの。昨年度8億5千万円の黒字決算という市財政からも、財政難を理由に福祉を切り捨てることは認められない」と反対討論を行いました。

日本共産党以外の他会派の賛成多数で、重度心身障害者福祉手当の条例改正は可決されました。

### 一般会計・国保・高齢者医療・狭山台の20年度決算に反対

12月議会初日に、20年度決算の討論・採決が行われました。

共産党は、一般会計について、景気悪化のなか、構造改革路線を受け入れ、市民への負担増を続け、職員数の削減などを行う行財政改革プラン、学童保育料の引き上げを行ったことに反対しました。

国民健康保険では、全国的に問題になっている保険証の取り上げを続けているこ

と、保険税の年金天引きに反対しました。

後期高齢者医療については、75歳以上の高齢者に差別医療と負担増を強いる制度は、直ちに廃止すべきと主張しました。

狭山台土地区画整理事業については、市民生活が厳しさを増すなかで、一部の事業に莫大な税金を投入するよりも、市民の暮らしに予算をまわすべきとして、この事業にも反対しました。



### 「人間高校存続を求める意見書」は他会派の反対で実らず

共産党は、「人間高校の存続を求める意見書」の提案を行いました。

県は高校再編計画の一環として、人間高校と豊岡高校を統廃合する計画を提示。人間高校の生徒募集は、今年度が最後となります。人間高校に進学する生徒の半数は市内中学校の生徒で、地域にとってなくてはならない高校です。

憲法26条に教育を受ける権利が明記されており、希望する全ての子どもたちに高校教育を保障するべきです。

しかし、他会派の賛成が得られず、意見書の提出は実現しませんでした。

### 56条廃止の請願実らず

今議会に、2402名の署名とともに人間民主商工会から提出された請願は、共産党以外の会派の賛同を得られず、採択に至りませんでした。

請願の内容は、中小業者で働く家族従事者の給与を必要経費として認めない「所得税法56条」の廃止を要請し、国に意見書の提出を求めるものです。

小金井市をはじめ130議会で決議・意見書が提出されています。今回の不採択は、税金の申告者の55%を占める白色申告者の期待に背を向け、基本的人権、男女平等に反するものです。

### 共産党議員の一般質問

吉沢かつら議員

貧困対策・新型インフルエンザ対策

石田よしお議員

八ッ場ダム問題・道路補修

安道よし子議員

人間高校存続・武蔵藤沢駅渋滞対策

小出わたる議員

雇用対策・中橋付近歩道設置

### 日本共産党市議会報告

2010年1月

発行/日本共産党人間市議会議員団  
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお 2964-4048 070(5086)2075

安道よし子 2962-8082 090(4811)0553

吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077

小出わたる 2932-7884 090(6542)3883